

施設整備に伴う食器・食缶等の変更等について

1 趣旨

府中市立学校給食センター（以下「給食センター」といいます。）の老朽化等の問題に対応するため、平成24年度に府中市立学校給食センター基本構想（以下「基本構想」といいます。）を策定しました。その後、基本構想を基に、平成25年度に府中市立学校給食センター基本計画（以下「基本計画」といいます。）を策定し、給食センターの新築に向けた検討を進めてまいりました。

今年度、基本・実施設計の業務を開始し、新たな設備及び効率化検討の観点から、新給食センターで導入する食器・食缶等について取りまとめるものです。

2 検討経過

基本構想では、食器は、平成5年から現在まで使用している7種類（大ボール、小ボール、深皿、平皿、飯碗、汁碗、丼）の食器から、4種類（飯碗、汁碗、小ボール、深皿）への変更を決定しました。

平成24年度から食器・食缶等容器等について、各メーカーの資料分析及び商品テストなどを行い、導入する食器等を検討しました。

3 内容

食器は、強化磁器食器とし、サイズ・重量・強度・使用感・供給機式洗浄機との相性などにより、大蔵商事製クリストバライトの4種類としたい。

大フライ・小フライ・ジャム缶は、容量・保温性・安全性などにより、オオイ金属製マイルドボックスとしたい。なお、汁物食缶は現行と同規格の日本調理機製とする。

4 実施時期

平成29年2学期 新給食センター供用開始時